

第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

第18回

中学生創造ものづくり教育フェア

岐阜県大会

令和5年10月 28日（土） 岐阜県立国際たくみアカデミー
美濃加茂市生涯学習センター

競技内容

- 1) 中学生「ものづくり」作品コンテスト岐阜県大会表彰
- 2) 木工チャレンジコンテスト岐阜県大会
- 3) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール岐阜県大会
- 4) 「あなたのためのおべんとう」コンクール岐阜県大会審査
- 5) 創造アイデアロボットコンテスト岐阜県大会

主催：岐阜県教育委員会

岐阜県小中学校教育研究会

中学校技術・家庭科研究部会

共催：美濃加茂市教育委員会

第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア 第18回中学生創造ものづくり教育フェア 岐阜県大会

- 1 期日 令和5年10月 28日(土)
- 2 場所 岐阜県立国際たくみアカデミー 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3545-3
電話 (0574) 25-2423
美濃加茂市生涯学習センター 岐阜県美濃加茂市太田町3431番地1
電話 (0574) 25-2111
- 3 主催 岐阜県教育委員会(義務教育課)

岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
- 4 共催 美濃加茂市教育委員会
- 5 後援 岐阜県産業教育振興会 中日新聞社 熊樹堂 トップマン 等(申請中)
- 6 日程 開閉会式などを行わず、各競技を開始する。(全体会・表彰式なし)

競技詳細は、別紙大会要項参照
- 7 来賓 国際たくみアカデミー 校長 森保様
- 8 役員

大会会長	丸山 早苗	岐阜大学教育学部附属小中学校 校長	
大会副会長	伊藤 直輝	岐南町立岐南中学校 校長	
	本多 直也	土岐市立濃南中学校 校長	
	小川 瑞樹	瑞穂市立穂積中学校 校長	
	宮川 晴光	岐阜市立長森中学校 校長	
	岩佐 泰典	高山市立東山中学校 校長	
	松巾 昭	岐阜市立長良中学校 校長	
	鷺見 紀子	岐阜市立三輪中学校 校長	
	吉田 竹虎	可児市立西可児中学校 校長	
	加藤 智夫	多治見市立笠原中学校 校長	
	香田 勝頼	揖斐川町立谷汲中学校 校長	
	堀 高哉	岐阜市立藍川小学校 副校長	
	運営指揮	葛西 龍朗	岐阜市立境川中学校 教頭
		下川 秀喜	岐阜市立長森南中学校 教頭
		赤地 仁志	岐阜市立長良中学校 教頭
片山 達人		瑞穂市立穂積北中学校 教頭	
吉田 孝博		加茂郡七宗町立神淵中学校 教頭	
亀山 智子		各務原市立川島中学校 教頭	
中塚 貴美恵		各務原市立蘇原中学校 教頭	
松波 志味		岐阜市立草潤中学校 教頭	
神谷 智之		可児市立中部中学校	
大木 智子		岐阜市立岐阜西中学校	
	岐阜県教育委員会		
	美濃加茂市教育委員会		
大会本部長	加藤 武	関市立小金田中学校	
大会本部副部長	岩田 裕美	羽島市立中島中学校	
	吉村 滋行	岐阜市立長森中学校	
渉外・広報・記録	吉村 滋行	岐阜市立長森中学校	

競技責任者

生徒作品コンテスト	松井 大介	瑞穂市立穂積中学校
木工チャレンジコンテスト	相宮 隆二	各務原市立川島中学校
	加藤 友依	山県市立高富中学校
「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール	村上 明子	可児市立西可児中学校
	伊佐治美紗	可児市立蘇南中学校
「あなたのためのおべんとう」コンクール	岩田 裕美	羽島市立中島中学校
	田邊 滯	羽島市立羽島中学校
創造アイデアロボットコンテスト	加藤 佑弥	可児市立中部中学校
	青山 岳史	可児市立蘇南中学校

9 運営

受付・会場案内・駐車場		
役員受付	堀場 俊仲	岐阜市立岐阜西中学校
来賓案内	神谷 智之	可児市立中部中学校
	大木 智子	岐阜市立岐阜西中学校
	今井 芳紀	岐阜市立厚見中学校
会場担当	福田 竜也	各務原市立鵜沼中学校
	栃原 章吾	高山市立松倉中学校
	高岡 知世	岐阜市立陽南中学校
駐車場	吉村 滋行	岐阜市立長森中学校
	国立大学法人 岐阜大学教育学部 技術教育 学生	

中学生「ものづくり」作品コンテスト表彰式		
総括	丸山 早苗	岐阜大学教育学部附属小中学校 校長
	伊藤 直輝	岐南町立岐南中学校 校長
	淀川 雅夫	岐阜県教育委員会 教育研修課
	真野 智美	岐阜県教育委員会 義務教育課
責任者	松井 大介	瑞穂市立穂積中学校
司会	吉村 滋行	岐阜市立長森中学校

木工チャレンジコンテスト		
総括	片山 達人	瑞穂市立穂積北中学校 教頭
	葛西 龍朗	岐阜市立境川中学校 教頭
責任者	相宮 隆二	各務原市立川島中学校
副責任者	加藤 友依	山県市立高富中学校
競技担当	技術分野研究委員	

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール		
総括	松波 志味	岐阜市立草潤中学校 教頭
	中塚 貴美恵	各務原市立蘇原中学校 教頭
責任者	村上 明子	可児市立西可児中学校
副責任者	伊佐地実紗	可児市立蘇南中学校
競技担当	家庭分野研究委員	

「あなたのためのおべんとう」コンクール		
総括	亀山 智子	各務原市立川島中学校 教頭
	下川 秀喜	岐阜市立長森南中学校 教頭
責任者	岩田 裕美	羽島市立中島中学校
副責任者	田邊 滯	羽島市立羽島中学校
競技担当	家庭分野研究委員	

創造アイデアロボットコンテスト		
総括	吉田 孝博	加茂郡七宗町立神淵中学校 教頭
	赤地 仁志	岐阜市立長良中学校 教頭
責任者	加藤 佑弥	可児市立中部中学校
副責任者	青山 岳史	可児市立蘇南中学校
競技担当	技術分野研究委員	

10 審判・審査員(研究部)

部長	常富 真弘	北方町立北学園
副部長	天池 秀朗	羽島市立竹鼻中学校
	長尾 利恵	可児市立蘇南中学校

<材料と加工>

分野長	霜出 剛史	飛騨市立古川中学校
研究委員	所 哲義	大垣市立江並中学校
研究委員	中島 晋佑	可児市立蘇南中学校
研究委員	磯谷 直毅	岐阜大学教育学部附属小中学校
研究委員	桶田 洋介	恵那市立恵那西中学校
研究委員	水野 弘規	池田町立池田中学校
研究委員	赤羽 勇哉	各務原市立中央中学校

<家族・家庭生活>

分野長	齋藤 麻紀	各務原市立桜丘中学校
研究委員	山田 礼子	北方町立北学園
研究委員	水野 宏美	本巣市立系貫中学校
研究委員	安永 百香	岐阜市立加納中学校
研究委員	水谷 直美	岐阜大学教育学部附属小中学校
研究委員	伊藤 由香	大垣市立興文中学校

<生物育成>

分野長	古田 卓也	垂井町立不破中学校
研究委員	河村 翔太	岐阜市立加納中学校
研究委員	大橋 久徳	岐阜市立東長良中学校
研究委員	宮原 遼也	瑞穂市立穂積北中学校
研究委員	岩瀬 勇人	可児市立西可児中学校
研究委員	朝比奈 潤	笠松町立笠松中学校

<衣食住の生活>

分野長	羽田野 利恵	岐南町立岐南中学校
研究委員	小椋由加里	中津川市立第二中学校
研究委員	土屋 明代	岐阜市立長良中学校
研究委員	村瀬 莉衣	岐阜市立東長良中学校
研究委員	岩原 有美	岐阜市立青山中学校
研究委員	水野はづき	関市立緑ヶ丘中学校
研究委員	金森 夕貴	安八町組合立東安中学校
研究委員	久保田友紀	瑞穂市立巢南中学校
研究委員	倉野 育美	多治見市立北陵中学校
研究委員	足立 梓織	各務原市立中央中学校

<エネルギー変換>

分野長	宮川 景行	神戸町立神戸中学校
研究委員	林 翔太	土岐市立泉中学校
研究委員	西脇慎太郎	本巣市立巢南中学校
研究委員	今井 暁来	岐阜市立陽南中学校
研究委員	葛谷福太郎	岐阜市立精華中学校
研究委員	大野 祐司	羽島市立羽島中央中学校

<情報>

分野長	曾祢竜之介	本巣市立系貫中学校
研究委員	末松 崇芳	郡上市立郡南中学校
研究委員	小林 大輔	下呂市立萩原北中学校
研究委員	西尾 達也	高山市立中山中学校
研究委員	廣瀬 泰弘	大垣市立大垣東中学校
研究委員	山川 凌	岐阜市立長良中学校

<消費生活・環境>

分野長	高松 一恵	瑞穂市立穂積中学校
研究委員	峰 梨衣	笠松町立笠松中学校
研究委員	塚本 繭	大野町立大野中学校
研究委員	熊田 美咲	岐阜市立境川中学校
研究委員	高岡 知世	岐阜市立陽南中学校

<フェア地区担当(技術分野)>

岐阜地区	宮原 遼也	瑞穂市立穂積北中学校
西濃地区	高木 至	大垣市立西中学校
東濃地区	岩川 太郎	中津川市立第二中学校
美濃地区	加藤 武	関市立小金田中学校
飛騨地区	池本恵理香	高山市立日枝中学校
可茂地区	三浦 健太	御嵩町立向陽中学校

<フェア地区担当(家庭分野)>

岐阜地区	和田 恵美	瑞穂市立穂積北中学校
西濃地区	若原 愉香	養老町立養老東部中学校
東濃地区	小椋 由加里	中津川市立第二中学校
美濃地区	梅村可奈女	美濃市立美濃中学校
飛騨地区	中島 綾女	高山市立日枝中学校
可茂地区	細川 純	川辺町立川辺中学校

<岐阜県 各郡市 中学校技術・家庭科小学校家庭科教員 及び 参加校引率教員>

<国立大学法人 岐阜大学教育学部 技術教育 学生>

全体日程予定【令和5年10月28日（土）】

時間	国際たくみアカデミー				生涯学習センター				
	ものづくり作品表彰式 ＜視聴覚室＞	ロボットコンテスト ＜たくみホールなど＞	木工 ＜建築科実習室＞	バッグ ＜制御工学実験室＞	おべんとう ＜栄養指導室＞				
8:15	役員集合・準備	役員集合・準備	役員集合・準備 (審判打ち合わせなど)	役員集合・準備	役員集合8:30 打合せ・準備				
8:30				表彰者受付		生徒受付・車検	受付		
8:45									
9:00	表彰式	審判説明会	開会式	作品・レポート審査 8:30~10:30	受付 9:30~				
9:15					表彰式後は選手控室	開会式 各競技の説明を含む	競技開始(2時間) 9:45~11:45	開会式 9:45~	
9:30								調理前準備 10:05~10:35	10:50 オンライン受付
9:45									
10:00	競技(90分) 10:35~12:05	11:10 プレゼンテーション (30分程度)							
10:15			審査						
10:30	11:50 諸連絡								
10:45		昼食/休憩 11:45~12:45							
11:00	競技開始 部門ごと								
11:15		※昼食については各会場 で自分が競技に参加しな いときにとる。							
11:30	審査								
11:45		審査 12:30~14:45							
12:00	競技再開(2時間) 12:45~14:45								
12:15		閉会式							
12:30	審査準備								
12:45		閉会式							
13:00	閉会式								
13:15		閉会式							
13:30	閉会式								
13:45		閉会式							
14:00	閉会式								
14:15		閉会式							
14:30	閉会式								
14:45		閉会式							
15:00	閉会式								
15:15		閉会式							
15:30	閉会式								
15:45		閉会式							

「中学生『ものづくり』作品コンテスト」実施要項

1 目的

- (1) 生徒が自分自身の生活を見つめ、願いや課題をもつてものづくりに取り組むことを通して、知識及び技術の向上を図る。
- (2) 作品製作に励んだ成果を認め励ますことにより、より豊かな生活を営む力と問題解決能力の育成を図る。

2 主催

岐阜県教育委員会
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会

3 事業概要

生徒が生活を見つめ、より豊かにする願いをもち、製作に主体的に取り組んだ作品を広く募集して、優れた作品を公表する。

4 応募

(1) 資格

県内の中学校、義務教育学校(後期課程)及び特別支援学校中学部に在籍する生徒

(2) 応募作品

以下の2部門にて作品を募集する。

・ I 部門 (授業内製作作品)

技術分野・家庭分野とともに、総製作時間(設計・製作を含む。)数のうち、80%以上の時間が教科の授業中に創造製作した作品部門(総合的な学習の時間、放課後の活動、部活動、休み時間等は、教科の授業中の製作活動とみなさない。授業で製作した作品のみをI部門とする。)

・ II 部門 (自主製作作品)

技術分野・家庭分野とともに、技術・家庭科で学習した知識及び技術を生かして製作した創造作品で、I部門(授業内製作作品)に該当しない部門(総合的な学習の時間、長期休業や放課後の活動、休み時間等で製作したもの。)

【大きさ等の制限】

・ 縦+横+高さ=160cm以下、重量25kg以下であること。

【作品製作費の制限】

・ I部門は、製作費が5,000円以下であること。

【留意事項】

- ・ 家庭分野の衣類に関して1着の重さは、作品規定を超えてはならない。
- ・ 2人以上で製作した作品は、II部門で応募すること。
- ・ 著作権、知的財産権を侵害しない作品であること。
- ・ 補足説明の資料はA3までの大きさの用紙1枚以内かA4サイズのファイルとする。

(3) 応募締切

地区審査：令和5年 9月8日(金)まで※レポートのみ審査

※ I部門・II部門とも同一締め切りとする。

- (4) 応募方法 (ア) 各学校から「学校取りまとめ用紙」を電子メールにて送付。
(地区審査) ・申込先＝義務教育課 技術・家庭科担当宛て

電子メール：cl7785@pref.gifu.lg.jp

- (イ) 「応募用紙①・②」を郵送にて送付。

【送付先】

- 飛騨・東濃地区 →中津川市立第二中学校
〒508-0001 岐阜県中津川市中津川2251-1
美濃・可茂地区 →郡上市立郡南中学校
〒501-4106 岐阜県郡上市美並町白山1331番地1
岐阜地区 →瑞穂市立穂積北中学校
〒501-0236 岐阜県瑞穂市本田2000
西濃地区 →大垣市立西中学校
〒503-0953 岐阜県大垣市割田1-601-2

5 審査・表彰

I 部門（授業内製作作品部門）

(1) 地区審査

(ア) 会場 県内地区会場

- 飛騨・東濃地区 →中津川市立第二中学校
〒508-0001 岐阜県中津川市中津川2251-1
美濃・可茂地区 →郡上市立郡南中学校
〒501-4106 岐阜県郡上市美並町白山1331番地1
岐阜地区 →瑞穂市立穂積北中学校
〒501-0236 岐阜県瑞穂市本田2000
西濃地区 →大垣市立西中学校
〒503-0953 岐阜県大垣市割田1-601-2

- (イ) 審査員 ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員
・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事
(ウ) 表彰 応募者全員に参加証（努力を讃えて）を贈る。

(2) 県審査

(ア) 会場 岐阜県総合教育センター

- (イ) 審査員 ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員
・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事
(ウ) 表彰 ・優秀な作品を製作した生徒に表彰状を授与する。

(3) 審査の観点

- ①生活に根ざした作品：生活とのつながりを意識できる作品であるか。
②創意工夫ある作品：創意工夫が認められるものであるか。
③正確さに基づいた作品：適切な方法で正確に加工や製作ができてい
か。
④実用性ある作品：実用的であるか。

II 部門（自主製作作品部門）

(1) 地区審査

(ア) 会場 県内地区会場

- 飛騨・東濃地区 →中津川市立第二中学校
〒508-0001 岐阜県中津川市中津川2251-1
美濃・可茂地区 →郡上市立郡南中学校
〒501-4106 岐阜県郡上市美並町白山1331番地1
岐阜地区 →瑞穂市立穂積北中学校
〒501-0236 岐阜県瑞穂市本田2000
西濃地区 →大垣市立西中学校
〒503-0953 岐阜県大垣市割田1-601-2

- (イ) 審査員 ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員
・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事

- (ウ) 表彰 ・優秀な作品を製作した生徒に表彰状を授与する。
・審査に応募した者に参加証（努力を讃えて）を贈る。

- (2) 県審査
- (ア) 会場 岐阜県総合教育センター
 - (イ) 審査員
 - ・岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 役員及び研究員
 - ・岐阜県教育委員会技術・家庭科担当指導主事
 - (ウ) 表彰
 - ・優秀な作品を製作した生徒に最優秀賞、優秀賞を贈る。
 - ・最優秀賞、優秀賞以外の作品は入選としてその作品を製作した生徒に賞状を授与する。

- (3) 審査の観点
- ①生活に根ざした作品：生活を見つめ、よりよいものにしようという願いが込められているか。
 - ②創意工夫ある作品：願いが実現できるような創意工夫がなされているか。
 - ③正確さに基づいた作品：習得した知識や技術が正確・確実に活用されているか。
 - ④実用性ある作品：実用性があり、完成度の高い作品であるか。

- 6 その他
- ・「学校とりまとめ用紙」「応募用紙①・②」は以下のURLにてダウンロードして使用すること。
岐阜県総合教育センターの教科WebページURL
<https://webc.gifu-net.ed.jp/gika>
 - ・地区審査はレポート審査を行う。地区審査を通過し、県審査進出作品は、作品を岐阜県総合教育センターへ後日送付もしくは搬入し、作品及びレポートの審査により優秀作品を決定する。
 - ・電子メールにて提出となる「学校とりまとめ用紙」は、賞状に印字する原本となるため、学年や氏名、作品名を正確に記入すること。
 - ・レポート送付先と「学校とりまとめ用紙」の送付先が異なるため、上記応募方法を確認すること。
 - ・地区審査の結果の通知を、9月15日（金）以降に行う。
 - ・県審査は、作品及びレポートの審査となるため、作品の送付、搬出入が必要となる。方法については、協議の上決定する。
 - ※搬出入場所：岐阜県総合教育センター
 - 搬入日時：別途連絡
 - 搬出日時：別途連絡

7 連絡及び問合せ先

岐阜県教育委員会義務教育課 中学校技術・家庭科担当
TEL：(058) 272-1111 (内線：8594)
岐阜県総合教育センターの教科WebページURL
<https://webc.gifu-net.ed.jp/gika>

「木工チャレンジコンテスト【製作部門】」 岐阜県大会 大会要項

1. 期 日

令和5年10月28日(土)

2. 場 所

国際たくみアカデミー

岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3545-3 ☎ 0574-25-2423

3. 主 催

岐阜県教育委員会(義務教育課)

岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会

4. 後援

岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社

5. 目的

中学校技術・家庭科の授業で身に付けた知識や技術を生かし、目的にあったものづくりを通して、生徒の知識や技術の向上を図るとともに、ものづくりに対する実践的な態度を養います。

互いの製作状況から知識と技術を学び合い、ものづくりへの意欲をさらに高めます。

6. 応募締切

令和5年9月29日(金)

参加者は最大で10名です。参加者多数の場合は、書類による事前審査により参加者を決定します。

7. 応募先

各務原市立川島中学校

岐阜県各務原市川島河田町1028番地1 ☎ 0586-89-2700

担当者 相宮隆二 <mailto:aimiya-ryuuji@edu.city.kakamigahara.gifu.jp>

8. 参加費

2,300円(大会運営費500円 材料費1,800円)

当日受付にてお支払いください。

9. 提出物

当日受付にて、構想図、問題解決レポート、材料取り図、工程表のコピーを一部提出してください。用紙は全国大会のwebサイト(<http://www.ajgika.ne.jp/~mokkou/>)からダウンロードしてください。

10. 応募方法

別紙申込書に必要事項を記入し、構想図、問題解決レポート(写真データで良い)を添付してe-mailで申し込んでください。なお、構想図に関しては内容が伝われば良いので、きっちりしたものでもなくともかまいません。

11. 競技内容

全国大会の要項(<http://www.ajgika.ne.jp/fair/23/doc/monog-guideline.pdf>)に準じ、木材による課題製作を通して、木工技術やデザイン、創造性を競います。

11-1 【課題】

与えられた材料を活用して、生活や社会の問題を木工の技術より解決できる作品を設計・製作すること。ただし、以下の条件を満たすものとする(自分だけではなく、誰かの役に立つものを製作できると良い)。

11-2 【条件】

- ・ 出された競技課題をもとに、4時間以内に完成すること。特に仕上げ工程(ただし、塗装作業を除く)を疎かにしないように、各工程の時間配分を考えた設計に務めること。
- ・ 使用する材料は、ヒノキ集成材(15^{ミリ}×200^{ミリ}×900^{ミリ}:2枚)、シナ合板(4^{ミリ}×450^{ミリ}×450^{ミリ}:1枚)とする。これら以外は、接合金具(クギ、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番)及び、把手、フック、マグネットキャッチのみ使用可とする。
- ・ 製作品の大きさは、3辺の合計長さが1600^{ミリ}以内とする。
- ・ 製作工程において、さしがねによるけがき、両刃のこぎりによる切断、平かんによる部品加工、クギ打ちによる組み立て、定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。



11-3 【工具類】

- ・ 必要な工具類は、すべて参加者が用意すること。
- ・ 作業に適した服装、作業中の靴を使用すること。
- ・ 工具の種類は、現在中学校で使用されている技術・家庭科教科書(令和3年度入学の1年生へ支給された教科書は対象外とする)に掲載されているものに限る。
- ・ ジグは自作したものに限って、使用可とする。
- ・ 鉛筆(赤鉛筆を含む)、鉛筆削り、消しゴム、タオル5枚程度。
- ・ 接合金具(クギ、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番、把手、フック、マグネットキャッチおよびその取り付けに必要な手工具(三ツ目ぎり、ドライバ等)。
- ・ 全国大会で準備される工作機械(卓上ボール盤、糸のこ盤)は、県大会では準備しない。

11-4 【審査】

- ・ 審査は審査委員会(岐阜県中学校技術・家庭科の教諭、岐阜大学教育学部に在籍する学生等10名程度の予定)が行う。
- ・ 審査員は、競技時間全体を通してそれぞれの競技者ごとに審査を実施する。
- ・ 審査では、提出物や製作品の完成度、製作品や製作中の創意工夫、製作の技能と態度を評価する。なお、技能の審査対象は、さしがねによるけびき、クギ打ちによる組み立て、定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業に限る。例えば、のみ等による継ぎ手加工などは技能審査の対象外とする。

11-5 その他

- ・ 上記大会要項で定められた工具、材料以外の使用を禁止する。
- ・ 時間延長は30分に限り認めるが、減点対象とする(全国大会一次審査に応募することはできない)。
- ・ 加工ミス等をして指導者や審判員の手助けを受けたときは、減点対象とする。
- ・ 競技者の競技中の負傷については応急処置のみ行い、適宜医療機関で対応する。その間、競技タイマーは止まらないものとする。
- ・ 引率指導教員による助言は、昼食時間休憩中に行う。
- ・ 公平を期すため、当日の作業台(図1参照)は抽選で決定する。抽選順は、受付順とする。



図1 会場図

※競技者の数によって、作業台が減ることがある。

11-6 表彰

- ・ 上位入賞者に賞状等を授与する。
- ・ 第1位の生徒は、県代表として全国大会一次作品審査に応募する権利が与えられる。全国大会は、各都道府県大会等で推薦された生徒の中から、一次審査を経た16名で競技を行う。
- ・ 全国大会一次作品審査に応募する場合、制作ビデオを提出する必要がある。県大会での競技中の様子を撮影するので、引率者は撮影機材を準備すること。
- ・ 全国大会は、令和6年1月20日(土)にオンライン形式で行われる。詳細は、[全国大会の要項](#)を参照すること。

11-7 競技日程

時間	内容	備考
9:00	受付	構想図、問題解決レポート、材料取り図、工程表のコピーを一部提出
9:15	開会式	
9:45	製作競技開始(2時間)	
11:45	昼食・休憩	休憩時、他競技者の作業台を見て回ってもよい。ただし、材料や道具などに手を触れないこと。
12:45	製作競技開始(2時間)	
14:45	製作競技終了	
15:15	プレゼンテーション	ワークショップ形式によるプレゼンテーションを行う。審査員が競技者に製作品についてや製作意図について質問をして回る。競技者は必要に応じて収納するアイテムや使用環境の分かる写真などを準備してもよい。
15:30	作品審査	
15:45	閉会式(表彰)	

第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

岐阜県大会 大会要項

- 1 期 日 令和5年10月28日（土）
- 2 場 所 ZOOMを使ったオンライン開催
※アイデアバッグ本部は、国際たくみアカデミー（美濃加茂市）に設置
- 3 主 催 岐阜県教育委員会（義務教育課）
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
- 4 後 援 岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社
- 5 目 的
 - ・「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することによりものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。（2021年度、アイデアバッグ部門と生徒作品コンクールの両方にエントリーしている作品がありました。多くの生徒に参加していただきたい観点から、どちらかに絞って参加をお願いします。）
 - ・技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と競技をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る機会とする。
 - ・自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
 - ・製作を通して、ものを大切に作る心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。
- 6 応募締切 : 令和5年10月6日（金）（応募一覧、作品及びレポート提出）必着
- 7 参加費 : 不要
- 8 参加資格 : (1) 10月28日（土）の本大会に出場できる生徒。（部活動の大会、学校行事等が予定されている場合は、出場可能かどうか確認の上、応募してください。）
(2) 本大会にて2位までとなり、東海北陸大会を経て全国大会に選出された場合、令和6年1月20日（土）に行われる「第23回中学生創造ものづくり教育フェア」での全国大会（オンライン開催）への参加が可能である生徒。
- 9 応募様式 : ・製作レポート
※字や絵がはっきりと見えるように **A4カラー印刷で1部＋白黒印刷6部（計7部、両面印刷可）** 提出すること。
※製作工程は、**1枚にまとめること。**
 - ・作品
 - ・応募一覧表上記3点を提出する。応募は郵送か、直接担当校までお持ちください。
メールでの提出は不可とします。

1 0 審 査 : 会場での製作は実施せず、作品、レポート及びプレゼン発表による審査を実施する。

* 審査項目・内容については、全国技術・家庭科研究会HP : <http://www.ajgika.ne.jp/>に掲載されています。参考にしてください。

1 1 競技の課題および課題製作上の注意点について

(1) 競技の課題について

『バッグ（ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど）』とする。

(2) 使用する布について

- ・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。
- ・その他、衣服以外の布などを加えてもよい。

(3) デザイン及び機能について

- ・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。
(例：ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など)
- ・『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

(4) 縫製について

- ・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
- ・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
- ・スナップは、必ず1つ以上付ける。
- ・3時間程度で製作できる作品とする。

(5) レポートについて

- ・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫（どの部分をどのように活用するか）」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること（朱書きする）。
- ・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。

(6) プレゼンテーションについて

- ・当日はオンラインにて「製作した『バッグ』について、3分以内の発表を行う。その際、利用方法、「自分や家族の生活を豊かにする視点」「私にとってのものづくりの視点」、「衣服の再利用の工夫の視点」から発表をする。そのあと審査員から作品や製作について2分程度質疑応答を行う。
- ・プレゼンテーションは「zoom」でできること全てを認める。

※プレゼンテーション発表時には、作品は提出した状態である。発表の際に必要なであれば、写真などで記録しておくといよい。

「競技の課題および課題製作上の注意点について」は、全国大会の要項に基づき決定しています。

1 1 応募および問い合わせ先：可児市立西可児中学校 村上 明子（むらかみ あきこ）
〒509 - 0258 可児市若葉台7丁目1番地
TEL 0574(65)6835 FAX 0574(69)0096
E-mail nishikani@school.city.kani.gifu.jp

本大会要項及び申し込み用紙は、今後以下のホームページにも記載されます。

教育センターHP : <http://www.gifu-net.ed.jp/gec/>

岐阜県中学校技術家庭科研究会HP : <http://ajgika.ne.jp/~gifu/dl.html>

第23回全国中学生創造ものづくり教育フェア 「あなたのためのおべんとう」コンクール岐阜県大会 実施要項

- 1 期 日 令和5年10月28日（土）
- 2 場 所 美濃加茂市生涯学習センター 栄養指導室（他のフェアの会場とは異なります）
岐阜県美濃加茂市太田町3425番地1 TEL：0574（25）4141
- 3 主 催 岐阜県教育委員会
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
- 4 後 援 岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社
- 5 目 的 (1) 中学校技術・家庭科で学習した内容を生かし、おべんとうづくりを行う。その成果の発表を通して、知識や技能の向上を図り、よりよい食生活を目指そうとする意欲を育てる。
(2) 食べてもらう相手のことを考えた普段通りの日常生活（ケの日）の中で作られるおべんとうづくりを通して、身近な人との関わり大切さや「食」の重要性を知る。
- 6 応募締切 令和5年9月26日（火）必着 参加者名簿及びレポート提出（要項8①②）
レポート及び材料表については『全国中学生創造ものづくり教育フェア あなたのためのおべんとうコンクール』よりダウンロードしたものを使用する。参加者名簿については本要項4ページの様式1を使用して提出する。
- 7 参加費 1チーム800円（10月28日（土）に行われる県大会に出場する場合のみ）
- 8 応募方法 ①参加者名簿に、参加中学校名、連絡先、学年、氏名等を記入し、メールで提出する。
②レポートと材料表に記入し、片面印刷でカラー2部コピーして郵送または提出。左上をステープラー止めにする。返却はしない。原本不可。メールでの提出は不可。（スキャン等で見にくい場合があるため）
③最終審査での提出物は異なるため、一次審査合格時に詳細を連絡する。
- 9 審 査 一次審査を実施し、通過者は県大会に出場する。
一次審査：10月上旬にレポート審査を実施。審査結果を参加者全員に通知する。
県大会：一次審査合格者が出場する。10月28日（土）「あなたのためのおべんとうコンクール」岐阜県大会にて実技審査及び作品審査を行う。また、お弁当のテーマや工夫を1分間のプレゼンテーションで発表する。プレゼンテーションは事前に制作して持参する。パワーポイントなどの使用は不可。画用紙などを用いて、絵や文などでおべんとうの工夫点をアピールできるようにする。県大会優勝チームは全国大会参加資格を得る。
- 10 表 彰 県大会の上位入賞者（3位までを予定）を表彰する。
- 11 参加資格 ①岐阜県内の中学校・義務教育学校・特別支援学校に在籍する生徒。
②同一校の1～2名でのグループ競技とする。1グループ1レポートのみ提出可。複数提出があった場合はすべて無効とする。
③本大会にて最優秀賞になり、全国大会書類審査にて選出された場合、令和6年1月20日（土）、21日（日）に行われる「第23回全国中学生創造ものづくり教育フ

ェア」での全国大会への参加が可能である生徒。

※感染症等で欠席者が出た場合、チーム人数のうち1名は欠席者の代わりに出場することができる。県大会出場時に代員申請をする。

12 調理規定・レポートについて

(1) 調理時間

- ①調理開始から、片付けも含めて90分以内とする。90分には、調理器具・道具や調理台及び流し台の片付けと掃除（ゴミ処理）を行う時間も含む。おべんとうのふたをしめて完成、終了までの時間とする。
- ②調理準備の時間は30分とし、ご飯を炊く、乾物をもどす、漬け込んでおくなどの下準備を事前に行うことは可とする。材料や調味料等を必要量取り分けたり、包丁を使って切り分けたりする作業はしない。

(2) 食材

- ①規定課題「**魚を使った料理**」を主菜とする。
*魚は、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍でもかなわない。
ただし、甲殻類（エビ、イカ、カニ）は規定課題とはみなさない。
- ②材料費の目安は1人900円以内とする。
- ③おべんとうはチームの人数分＋試食用1名分を作る。
- ④競技当日、以下に示した基本調味料は、会場に用意したものを使用する。
【砂糖・塩・酢・醤油・胡椒・植物油・酒・みりん・小麦粉・片栗粉】
それ以外の特別な調味料と食材は各自で持参する。
- ⑤持ち込む調味料の計量は、時間内に行うこと。（あらかじめ、分量を量り小分けにしない。）

(3) 用具

- ①お弁当箱と小物はお弁当として持ち運べる容器を各自で選び準備する。色、形、大きさは、食べてもらう相手にあったものを使用する。
- ②調理器具は本部で用意するが、炊飯器は各自持ち込みとする。本部では、準備しない。特別な用具等があれば各自持参してもよい。各調理台にオープン機器が備え付けられている。電子レンジはあるが、オーブントースターはない。包丁は、安全面を考え、会場に用意してあるものを使用する。
- ③滑ると危険なので、牛乳パックの上で食材を切らない。
- ④安全面・衛生面を考慮し、調理台の上に市販のラック等を使い、用具等を置くスペースを増やすことはしない。

(4) 服装・持ち物

- ①服装 エプロン、三角巾、上履き（かかどがあり脱げないもの）、マスク、ふきんは各自持参とする。
- ②その他の持ち物 競技中に水分補給ができるよう、水筒を各自持参する。

(5) レポート

- ①レポートの形式は全国中学校技術・家庭科岐阜県中学校技術・家庭科研究会の指定したものに準ずる。
- ②レポート及び材料表は複写使用可（数枚にわたり記入することが可）とするが、レポートのサイズからはみ出る装飾や別の用紙を使っての過度な装飾は審査の対象としない。
- ③レポートに記入もれがある場合、審査対象外とする。
- ④2群については、各食品の重量で表記する。（牛乳に換算しないこと）
- ⑤主食がご飯の場合、米の重量または、ご飯の重量のどちらかを明記する。
- ⑥おべんとう写真のカメラ位置は真上からとし、背景は白とする。写真の周りにふきだして料理の説明を記入する。

(6) プレゼン発表 ※一次審査では行いません。

- ①競技終了後に審査員の前で、完成したおべんとうを置いて、1分間のプレゼンテーションを行う。
- ②プレゼンテーション発表の時間は90秒以内とする。時間を超えた場合は途中でも終了する。
- ③発表後、審査員の先生方から質問されることもある。

13 調理競技上の注意点

競技審査で、以下のような点で減点になる場合が多いため、担当の先生は事前にご指導ください。

①まな板の扱い	・乾いたまま、魚等を切った。／・生食のものを長時間置きっぱなしにした。
②包丁の扱い	・使用していない時に、危険な置き方をした。／・皿やなべの上で包丁を使用した。
③コンロの使用	・火の近くに物を置いたまま使用した。／・火に鍋をかけっぱなしにした。
④調理器具の選択	・加熱する食材の量に対して、大きすぎる（小さすぎる）鍋を使用した。
⑤整理整頓	・調理台の上、流しの中に器具を乱雑に置いた（危険な）状態で調理を進めた。
⑥適正な分量	・大量に作りすぎてしまった料理をタッパーに入れて持ち帰った。
⑦環境への配慮	・布巾を全く使用せず、キッチンペーパーを大量に使用した。 ・調理後、調理に使用した油をそのまま流しに流した。

14 審査項目 ※審査項目については、各項目を詳細にわけて審査するものもある。

<レポート及び当日の競技を含む>

計画 ・ 技能	①食材・献立	食材・献立が対象者にふさわしいか。
	②栄養バランス	対象者の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安に準じ、栄養バランスが取れているか。
	③規定課題	「魚」を主菜として効果的に調理しているか。また、お弁当に適した献立になっているか。
	④手順	調理の手順や作業や、能率的に行われているか。
	⑤調理方法	おべんとうに適した調理方法が工夫され、示されているか。
	⑥盛りつけ	彩りや配置を工夫して盛りつけているか。
	⑦味	個々の食材の味を生かし、おべんとうに適した味付けが工夫され、その工夫がレポートに記載されているか。
	⑧安全な作業	用具を適切に扱い、安全に配慮して作業を行っているか。
	⑨環境への配慮	環境に配慮した調理の仕方であるか。（食材、熱源、器等）

<表現（プレゼンテーションを含む）>

表現	⑩完成	時間内に完成することができたか。（後片付けを含めて90分間）
	⑪課題設定	テーマに沿った適切な発表であり、課題設定は適切であるか。
	⑫組み立て	食べてもらう人のことを考えたおべんとうであることや、食の重要性が理解されていることがわかる内容であるか。

15 応募および 問い合わせ先

羽島市立羽島中学校 田邊 滯（たなべ みお）

〒501-6207 岐阜県羽島市足近町7丁目455

TEL 058-392-4433 FAX 058-391-8975

E-mail hashimaj@hashima-gifu.ed.jp

16 応募に関する詳しい情報について

①岐阜県総合教育センター <http://www.gifu-net.ed.jp/kyoka/gika/gikatop.htm>

②岐阜県中学校技術・家庭科研究部会 <http://ajgika.ne.jp/~gifu/>

③全国中学校技術・家庭科研究会 <http://www.ajgika.ne.jp/>

「創造アイデアロボットコンテスト」 岐阜県大会要項

1. 期 日 令和5年10月28日(土)
2. 場 所 国際たくみアカデミー
美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3545-3 TEL: 0574-25-2423
3. 主 催 岐阜県教育委員会(義務教育課)
岐阜県小中学校教育研究会中学校技術・家庭科研究部会
後 援 岐阜県産業教育振興会 熊樹堂 トップマン 中日新聞社
4. 目 的 (1) 中学校技術・家庭科で学習した知識や技術を生かしてロボットの設計・製作を行い、その成果をコンテストの場で発表することを通して知識や技術の向上を図る。
(2) コンテストをひとつの授業の場としてとらえ、参加者が互いの工夫点や機能性・構造等を学び合う。
(3) ものづくりを基盤とする人づくりを目指し、創造力とチャレンジ精神をもった、たくましい生徒を育て、本県の産業教育の活性化につなげる。

5. 日程(現段階での予定)

<時間>	<内容>
8:30	各役員が会場に集合、打ち合わせ
9:00	生徒受付開始(出欠確認、車検など)
9:30	審判説明会(競技の流れ、ルールの確認など)
10:00	開会式(各競技の説明を含む)
10:30	競技開始 ※対戦表は大会までに連絡します。
14:30	閉会式

6. 競技について

(1) ルール及び部門

- ・今年度より**県大会は集合対面式で実施します**。変更があった場合は、その都度、岐阜県中技家研のホームページにて連絡しますので、ご確認ください。
- ・「令和5年度創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会」のルールに準ずる。
(詳しくは <http://ajgika.ne.jp/~robo/> 参照)

i) 基礎部門「Ace in the hole 3」

自陣のスポット8カ所に、長さの違うアイテム8本をシュートする競技。30秒のセッティングタイムで決められたアイテムテーブルに設置する。競技時間は90秒。時間内にシュートしたアイテムの個数もしくは、8本すべてのアイテムをシュートした時間で勝敗を決める。

ii) 計測・制御部門「ワクワク!ロボット定植」

プログラミングで制御し、アイテムを定められた場所に運び、ゴールした個数を競う競技。コース中に障害物がある「赤コース」と障害物のない「青コース」を選択する。アイテムを運ぶ場所によって得点が異なり、最大で15個までアイテムを運ぶことができる。競技時間は90秒。

iii) 応用部門「もっと支援物資を運搬せよ!」

コート中央にあるアイテムを回収し、自陣4カ所ある高さの違うゴールエリアにアイテムを置く競技。有線操作によるメインロボットは2台まで、自動でゴールを狙うビックリドッキリメカを1台使用することができる。ビックリドッキリメカがアイテムをゴールした場合、そのエリアのアイテム得点が2倍になる。競技時間は150秒。アイテムのゴール数に応じて得点を決め、その合計点で勝敗を決める。

(2) 参加資格

- ・各地区大会での予選を勝ち抜いた生徒

※地区ごと県大会への出場枠については、9月上旬ごろに各地区担当から出場チーム数を報告してもらった上で、地区ごとのエントリー数に応じて配分します。参加人数が分かり次第、各地区担当に連絡します。

(3) 申込方法及び締め切り

- ・所定の応募様式に必要事項を記入し、出場校から下記の応募先へ電子メールにて申し込む。
(応募様式は、後日、各地区担当にメールで送信します。)

・応募締め切り 令和5年10月13日(金)

(4) 参加費

・1チーム800円

※当日、受付時に回収します。

7. その他

- ・県大会の競技審判・受付等の役員を出場校の先生方をお願い致します。当日の役割については、後日お知らせ致します。

8. 申込先及び問い合わせ先

岐阜県中学校技術・家庭科研究会 フェア部
創造アイデアロボットコンテスト 岐阜県大会担当
可児市立中部中学校 加藤 佑弥
TEL : (0574) 62-1161
FAX : (0574) 60-0393
メール : chubu@school.city.kani.gifu.jp

- ☆ 技術・家庭科 教材
- ☆ 技術・家庭科 備品
- ☆ 岐阜県各地区ロボットコンテスト サポート
- ☆ コロナ感染症対策商品

学校教材販売

(株) 熊 樹 堂

〒500-8464 岐阜市加納前田町10番地

TEL (058) 271-0766
FAX (058) 274-8962
Email office@kumakidou.com

家庭科教材

クロッサム



学べて、使える
ものづくりにこだわった
クロッサム教材！

株式会社文溪堂



クロッサム 家庭科

HISATOMI

指導要領に対応した教材のご提案

スタイリーラジオ

Bluetooth
技術搭載！



エネルギー変換 型番 **SR-1**

型番	製品コード	品名	学納価(消費税込)
SR-1A	4353	スタイリーラジオ(実験基板付き・電池なし)	3,950円
SR-2A	4355	スタイリーラジオ(実験基板なし・電池なし)	3,850円

オーロラクロック2N 双方向通信
対応版

iPad・Chromebook対応版！

協働で考える 双方向ネットワーク学習



計測・制御教材

型番 **UC-7/8**

型番	製品コード	品名	学納価(消費税込)
UC-7A	4248	オーロラクロック2N ほんだ付け基板(電池なし)	3,900円
UC-8A	4251	オーロラクロック2N 完成基板(電池なし)	3,900円

久富電機産業株式会社

〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇989

TEL (084)955-6889

FAX (084)955-1551

●URL <http://www.hisatomi-kk.com>

●e-mail info@hisatomi-kk.com

「つくる」って楽しい!

ものづくり
発信基地

「ものづくり」を通して
「生きる力」を育む

プログラミング学習教材

Windows

Chromebook

30分

Ver 4.0

Webも
チェック



TopMan

株式会社トップマン

本社: 兵庫県三木市大村58番10 URL: <https://www.topman.co.jp/ky/home.html>
TEL: (0794) 82-8601(代) E-mail: kyougu@topman.co.jp